

## 「重度障害者のための生活介護事業所」整備に向けた新たな推計（案）

※H29.6「重度障害者のための生活介護事業所整備構想（たたき台）」では、重度障害者のための生活介護事業所について、「令和7年で371人分」（令和15年で441人分）が必要と想定していたが、当時の推計と実績に乖離が生じているため、実績値を踏まえた新たな推計を行った。

### 1 「新たな推計」の結果

- ◇目標年次を、令和15年度（現時点(R5)から10年後）とする。
- ◇推計を算出する各数値は、H28～R4の平均値を用いる。
- ◇「市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数」及び「市外事業所の重度障害者の受入人数」を差し引いて、市として整備する必要がある人数を推計する。
- ◇日中活動系サービスの利用ニーズを、「令和4年度箕面市障害福祉に関するアンケート」を用いて、複数パターンで推計する。

パターンA	問16「障害福祉サービスの利用状況」から、 ・「現在、日中活動系サービスを利用している人」 ・「現在、利用したいができていない人」、と回答した人の割合	29.38%
パターンB	問24「平日の日中の過ごし方」から、 ・「現在、日中活動系サービスを利用している人」 ・「将来、日中活動サービスを利用したい人」、と回答した人の割合	31.77%

#### ◇推計結果

	H29.6 たたき台	新たな推計(R15)			
		パターンA	たたき台との差	パターンB	たたき台との差
①障害者手帳所持者数	3,187人	<b>3,632人</b>	445人	<b>3,632人</b>	445人
②日中活動系サービス利用者数	1,746人	<b>1,067人</b>	△679人	<b>1,154人</b>	△592人
③生活介護を利用する重度障害者数	545人	<b>316人</b>	△229人	<b>342人</b>	△203人
④他の事業所の受入	④-1 市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数	104人	111人 (差し引く)	197人	111人 (差し引く)
	④-2 市外事業所の重度障害者の受入人数	—		18人	
⑤今後整備が必要な生活介護事業所の重度障害者利用枠(③-④)	441人	<b>101人</b>	△340人	<b>127人</b>	△314人
<b>R15年度の整備必要数</b>	441人	<b>110人～130人の範囲</b> (※推計値の切り上げ)			

### 2 「新たな推計」に基づく施設整備手順（目標）

施設名	開園時期(目標)	整備定員数(予定)
中部施設	R7.7	新規60人
あかつき園再整備	R8.12	新規30人
東部施設	R10 ※R8年度にニーズ数を再検証する。	最大40人 (20人～40人)
合計		110～130人

※東部施設に求められるニーズ数は20人～40人であるため、整備定員数は最大40人を想定。ただし、R8年度に再検証し、整備定員数を決定する。